

## 2025年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年3月24日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年5月期第3四半期の連結業績(2024年6月1日～2025年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	55,119	6.5	514	25.2	539	25.9	648	80.8
2024年5月期第3四半期	51,748	9.9	688	56.9	727	51.1	358	36.0

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 596百万円 (36.0%) 2024年5月期第3四半期 438百万円 (45.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	44.14	
2024年5月期第3四半期	24.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第3四半期	25,101	6,474	25.8
2024年5月期	23,788	6,069	25.5

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 6,474百万円 2024年5月期 6,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期		5.50		6.50	12.00
2025年5月期		6.50			
2025年5月期(予想)				6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	5.0	770	29.0	800	30.2	790	3.9	53.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2025年3月24日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年5月期3Q	14,883,300 株	2024年5月期	14,883,300 株
期末自己株式数	2025年5月期3Q	200,012 株	2024年5月期	200,012 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年5月期3Q	14,683,288 株	2024年5月期3Q	14,683,288 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の回復が見られるものの、不安定な国際情勢や金融市場の動向、燃料価格や原材料価格等の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、企業活動の活発化やインバウンド需要の高まりなどから客足は回復基調が継続しているものの、原材料価格や物流費の上昇、慢性的な人手不足は改善しておらず、消費者の生活防衛意識の高まりなどから今後の消費動向が懸念されております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は551億19百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は5億14百万円（前年同期比25.2%減）、経常利益は5億39百万円（前年同期比25.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億48百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、人流の活発化やインバウンド需要の高まりなどを背景に、急増する顧客ニーズに対応した商品提案に注力するとともに、既存得意先との深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は362億12百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は4億54百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、外食需要やイベント需要の回復に対応し、品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2024年7月に津島店（愛知県津島市）、同年10月に沼津店（静岡県沼津市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は172億1百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は9億19百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として53店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は18億28百万円（前年同期比47.7%増）、営業利益は26百万円（前年同期は営業損失3億13百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が3億円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億5百万円減少したこと等により、流動資産は全体で2億5百万円減少しました。一方固定資産は、全体で15億18百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して13億13百万円増加し、251億1百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が6億26百万円減少したものの、短期借入金が7億75百万円増加したこと等により、流動負債が全体で46百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が5億96百万円増加したこと等により、全体で8億61百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して9億7百万円増加し、186億27百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が4億57百万円増加したこと等により、4億5百万円増加し、64億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、2024年11月18日に公表の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	585,287	681,460
受取手形及び売掛金	6,244,833	5,639,317
有価証券	100,010	100,000
商品	4,822,858	5,123,736
貯蔵品	12,218	10,768
その他	1,091,138	1,096,306
貸倒引当金	△6,558	△7,423
流動資産合計	12,849,788	12,644,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,036,907	5,218,112
その他（純額）	2,294,710	3,600,845
有形固定資産合計	7,331,618	8,818,957
無形固定資産	32,130	46,876
投資その他の資産		
投資有価証券	1,080,054	1,223,546
その他	2,503,118	2,374,794
貸倒引当金	△8,023	△6,360
投資その他の資産合計	3,575,150	3,591,981
固定資産合計	10,938,898	12,457,815
資産合計	23,788,687	25,101,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,237,313	6,610,954
短期借入金	1,729,000	2,504,500
1年内返済予定の長期借入金	1,114,816	1,288,916
未払法人税等	393,732	79,479
賞与引当金	263,594	136,268
その他	1,093,877	1,258,675
流動負債合計	11,832,334	11,878,794
固定負債		
長期借入金	4,174,094	4,770,223
役員退職慰労引当金	328,236	346,528
退職給付に係る負債	418,494	437,235
資産除去債務	522,543	531,316
その他	443,938	663,130
固定負債合計	5,887,307	6,748,434
負債合計	17,719,642	18,627,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,482,063	1,482,063
資本剰余金	1,385,862	1,385,862
利益剰余金	3,071,233	3,528,465
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	5,905,255	6,362,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,124	89,617
繰延ヘッジ損益	45	△570
退職給付に係る調整累計額	28,620	23,219
その他の包括利益累計額合計	163,790	112,266
純資産合計	6,069,045	6,474,754
負債純資産合計	23,788,687	25,101,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	51,748,606	55,119,321
売上原価	41,833,369	44,490,820
売上総利益	9,915,237	10,628,500
販売費及び一般管理費	9,227,153	10,113,598
営業利益	688,083	514,902
営業外収益		
受取利息	8,905	14,540
受取配当金	8,007	8,782
受取賃貸料	72,188	75,502
受取手数料	16,896	17,122
受取保険金	14,176	—
その他	19,670	15,217
営業外収益合計	139,845	131,165
営業外費用		
支払利息	18,799	41,741
賃貸費用	51,822	51,802
固定資産除売却損	8,901	6,821
その他	20,939	6,407
営業外費用合計	100,462	106,773
経常利益	727,466	539,293
特別利益		
損害賠償金収入	—	394,936
国庫補助金	—	77,920
特別利益合計	—	472,856
特別損失		
投資有価証券評価損	—	116
固定資産圧縮損	—	77,920
特別損失合計	—	78,036
税金等調整前四半期純利益	727,466	934,114
法人税、住民税及び事業税	318,525	209,802
法人税等調整額	50,429	76,197
法人税等合計	368,954	285,999
四半期純利益	358,511	648,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	358,511	648,115



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
四半期純利益	358,511	648,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,220	△45,506
繰延ヘッジ損益	△408	△616
退職給付に係る調整額	△2,576	△5,400
その他の包括利益合計	80,234	△51,523
四半期包括利益	438,746	596,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,746	596,591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	33,463,685	17,132,829	1,140,872	51,737,387	11,219	—	51,748,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	360	23,531	96,763	120,654	—	△120,654	—
計	33,464,045	17,156,360	1,237,635	51,858,042	11,219	△120,654	51,748,606
セグメント利益又は損失(△)	377,906	1,403,822	△313,593	1,468,136	5,385	△785,438	688,083

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△785,438千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2024年6月1日 至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	36,212,385	17,184,642	1,711,066	55,108,094	11,226	—	55,119,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	158	17,004	117,028	134,191	—	△134,191	—
計	36,212,543	17,201,646	1,828,095	55,242,285	11,226	△134,191	55,119,321
セグメント利益	454,783	919,759	26,231	1,400,773	6,035	△891,906	514,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△891,906千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	363,584千円	466,433千円

(追加情報)

(財務制限条項)

当社グループの借入金のうち、シンジケートローン（当第3四半期連結会計期間末残高2,333,333千円）には、以下の財務制限条項が付されております。

1. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を2023年5月決算期末日における連結及び単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%の金額以上に維持すること。
2. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の損益計算書に示される経常損益がいずれも2期連続して損失とならないようにすること。

なお、当第3四半期連結会計期間末において上記財務制限条項には抵触しておりません。